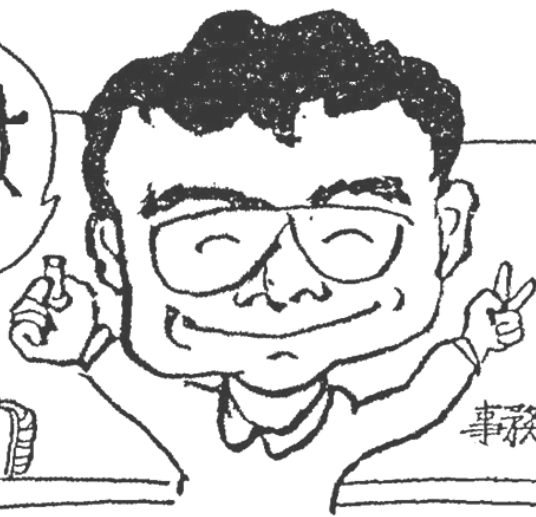


こんにちは

日本共産党 週刊県議会ニュース

2022年10月23日 NO.1159



きらとみひこ

吉良富彦です

新屋敷事務所 823-5878  
葛野事務所 846-2046  
県議会控室 823-9524

事務所

# オスプレイ違法の高度90m 日米両政府に撤回を求めよ

## 日米合同委員会が合意 全国の空で常態化の恐れ

る低空飛行訓練の中止を求め、以下質問しました。「日米両政府は9月26日の日米合同委員会で、米海兵隊普天間基地所属のMV22 オスプレイの飛行訓練の高度を



150mから90mにまで下げ、沖縄県を除く日本全土の山岳地帯で訓練を行うと

●10月4日、嶺北地域だけでなく全県の空を昼夜問わず訓練が行われ始めている米軍によ

した。今回の訓練は9月27日から10月18日迄行うとしていますが、今回限りとはしておらず常態化する可能性がある。嶺北の狭隘で曲がりくねった山間の地上90mの所を、重さ20トンを超える軍用機が異様な低周波轟音をたて縫うように飛び、暮らしと命が脅かされることなど断じて容認できません。防衛省は「日米同盟の抑止力・対処力を強化するもの」だとしていますが、日米同盟さえ掲げればどんな無法も許されるという姿勢は許されない。一層の危険を押し付ける今回のオスプレイ飛行訓練に対し、全国知事会にも働きかけ、中止を求める断固とした姿勢を国に示すべきだ。」

## 騒音測定機の設置 要望があれば検討

●知事は、90mとなったことには触れずに「超低空飛行など異常な訓練を行わないように私の

知事就任以降だけでも、これまでに3回、外務大臣、防衛大臣、両大臣に対しまして要請をしている」と、従前の姿勢を述べるにとどまりました。

さらに、私が、騒音測定器の各市町村への設置を求めたことに対しては「今後未設置の市町村から設置の要望があった場合には必要性から検討して判断をしてみたいです。」と一歩前進の答弁をしました。

自民・公明・一燈が反対

旧統一教会と決別求める

意見書「否決」される

●9月県議会閉会日の14日、私たち日本共産党と県民の会は「世界平和統一家庭連合(旧統一教会)との関係を断ち切り、被害防止および救済を求める意見書」を提出しました。しかし、統一教会の会合や関連行事に参加したり関係のあった自民党の三石、桑名、上田(貢)、田中、野町の各議員が所属する自民党の全議員(高知市選出は先の3議員に加え土居、西内(隆)の両議員)、公明党(高知市選出—黒岩、西森の2議員)、そして、一燈立志の会(高知市選出—大石議員)が意見書に反対し、否決されました。

●意見書の採択を求めて賛成討論に立つたわが党の中根さち恵議長は「県民・国民は、政治が、統一協会との関係を断ち切れるのか、厳しく注目をしています。これはすべての政治家の根本姿勢に関わる問題であり、今なお苦しむ被害者救済のためには避けては通れない意見書だと考えます。県民の負託にこたえる県議会の役割を国への意見書という形で示そうではありませぬか。」と広告塔となって被害を生じさせない決意を県議会議員に求めました。